

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月19日

協議会名:四万十市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
鈴ハイヤー有限会社	後川エリア	<p>&lt;前回の評価結果の概要&gt;</p> <p>①後川エリアは、新型コロナウイルス最盛期以降、利用者数の増加や収支率の改善がなされていることが確認出来ました。</p> <p>②西富山・蕨岡エリアは利用者の生活状況の変化等により、利用者数の減少が見られます。人口の減少が続いているかと思いますが、引き続き、新規利用者の獲得に向けた取組を継続して頂くとともに、住民のニーズを継続的に把握し、住民にとってより利用しやすいサービスを提供いただくことをお願いいたします。</p>	<p>事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった</p> <p>B</p> <p>[理由] 利用者数の減少により、各計画値を下回った結果となった。</p>	<p>&lt;後川エリア&gt;</p> <p>【目標達成率】89% 目標:1,746人/年 【利用者数】1,558人/年 対前年比:78% 対前々年比:84% 【1便あたり利用者数】1.5人 【収支率】2.8% 対前年比:▲0.8% 対前々年比:▲0.6%</p> <p>利用者数は減少となったが、需要があるエリアと考えられる。現在の運行形態と住民ニーズの整合性が取れているように思う。</p>	<p>これまでバスを利用してこなかった人に利用してもらうために、広報誌に利用方法等の情報を定期的に掲載することで、認知度の向上を図る。</p>
	西富山・蕨岡エリア	<p>&lt;評価結果の反映状況&gt;</p> <p>①後川エリアは、昨年の利用者数及び収支率を維持することは出来なかった。</p> <p>②昨年度に続き、利用者数は減少となった。住民ニーズ把握のため、市内全域で公共交通に関するアンケートを実施した、要望として多く見られたのは「運行維持」であったため、運行事業者と協議のうえ運行の維持にむけ運行形態の見直しについては、随時見直すこととした</p>	<p>事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった</p> <p>B</p> <p>[理由] 利用者数の減少により、各計画値を下回った結果となった。</p>	<p>&lt;西富山・蕨岡エリア&gt;</p> <p>【目標達成率】56% 目標:574人/年 【利用者数】324人/年 対前年比:90% 対前々年比:62% 【1便あたり利用者数】1.1人 【収支率】1.2% 対前年比:▲0.1% 対前々年比:▲0.6%</p> <p>利用者数は前年度から減少した結果となったが、利用者が固定されている当該エリアにおいて一定利用者数は、確保しているように思う。利用者数の減少に合わせた運行体制の見直しを検討する必要がある。</p>	<p>これまでバスを利用してこなかった人に利用してもらうために、広報誌に利用方法等の情報を定期的に掲載することで、認知度の向上を図る。</p>